12 December 2013
第716号
平成25年12月1日発行
（毎月1日発行）

[広報] さめがわ

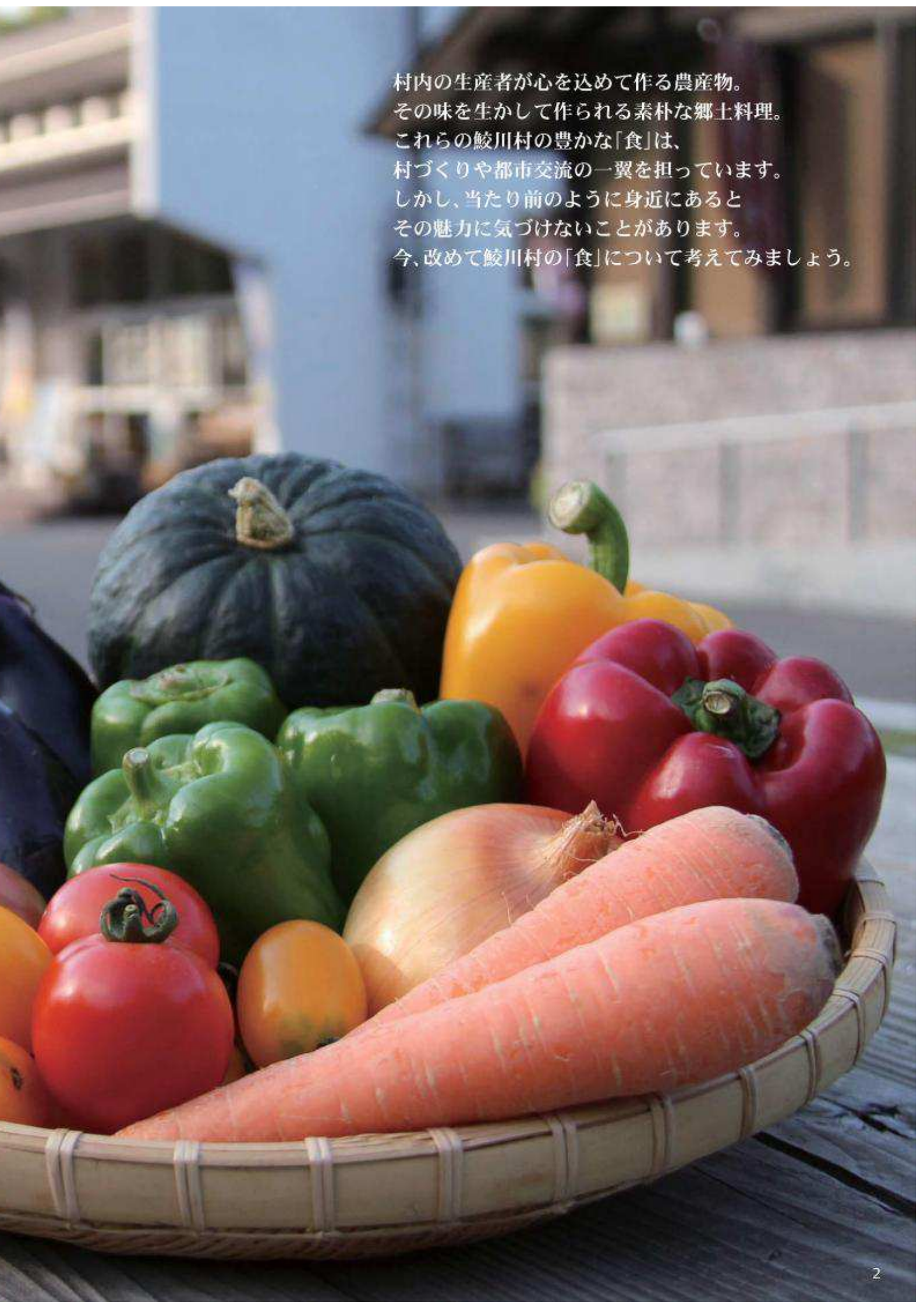
Public Relations SAMEGAWA

特集

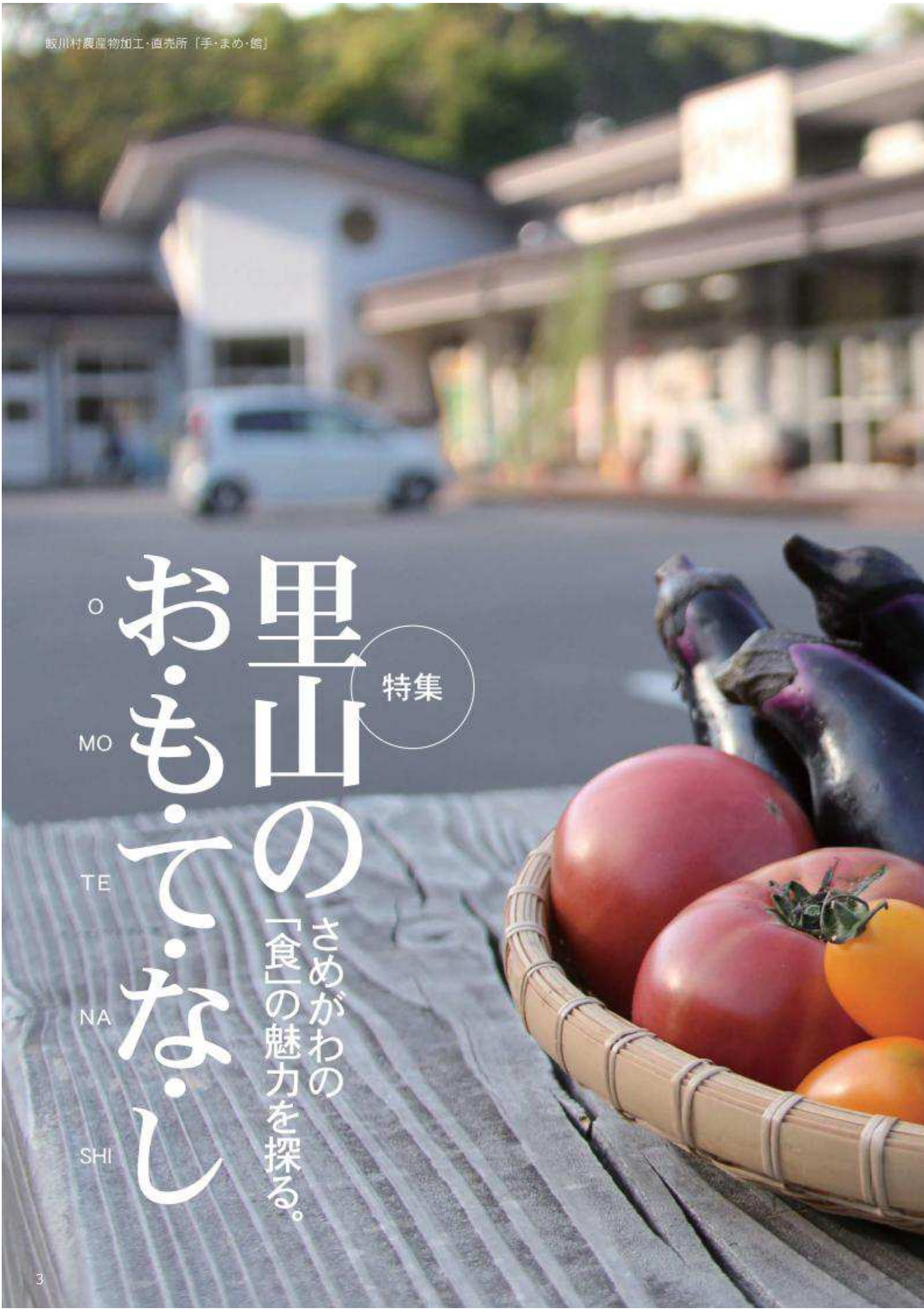
里山のお・も・て・な・し

さめがわの「食」の魅力を探る。





村内の生産者が心を込めて作る農産物。
その味を生かして作られる素朴な郷土料理。
これらの鮫川村の豊かな「食」は、
村づくりや都市交流の一翼を担っています。
しかし、当たり前のように身近にあると
その魅力に気づけないことがあります。
今、改めて鮫川村の「食」について考えてみましょう。



特集

里山のお・も・て・な・し

O MO TE NA SHI

さめがわの「食」の魅力を探る。

作物の一つ一つには生産者の思いが詰まっている

「手まめ」な人たちが支える鮫川村の「食」と「農」



阿久津清次さん・澄子さん
| 西山字折戸在住 |



北條惠三さん
| 赤坂西野字押目在住 |



矢吹イネ子さん
| 赤坂東野字蕨ノ草在住 |



1. 村内産の新鮮な農産物がズラリと並ぶ「手・まめ・館」　2. 阿久津さん夫妻が栽培する長ネギはやわらかくて甘みがあると評判　3. 収穫した大豆はビニールハウスの中で乾燥させる　4. 乾燥した大豆の状態を確かめる惠三さん　5. 保存食づくりの仕込みをするためのイネ子さんの作業場　6. 冬になると村内各地で見られる凍み大根

消費者の立場で安心・安全な物づくり

村が進めている「まめで達者な村づくり事業」の拠点施設である村農産物加工・直売所「手・まめ・館」。村内の農家が丹精込めて作った新鮮な農産物が所狭しと並んでいます。

「手・まめ・館」の登録生産者の一人である阿久津澄子さん（73歳）は、夫の清次さん（76歳）とともに年間を通してさまざまな農産物を出荷しています。阿久津さん夫妻が生産する野菜は、学校給食用の食材としても使用されているため、忙しい日々を送っています。

安心・安全な野菜づくりを心がけ、農薬を極力減らし、自家製肥料を使うというこだわりを持っています。肥料づくりは清次さんが担当。米ぬかや鶏糞、油かすなどを混ぜ合わせ、発酵・かくはんを繰り返します。そのためか、阿久津さん夫妻が作った野菜は虫がつきにくく、収穫後も鮮度が長持ちすると評判です。

また、お客さんに食べてもらうときの味を考えて作り、出荷する前に自分で味見をして、納得した物しか売りません。

「ただ売れればいいというわけではないですよ。消費者の立場になって考えて、お客さんに喜んでもらえるような物を作りたいです」と、強い責任感を持って農業に取り組んでいます。

お客さんからの「おいしい」のひと言が阿久津さん夫妻の原動力になっています。

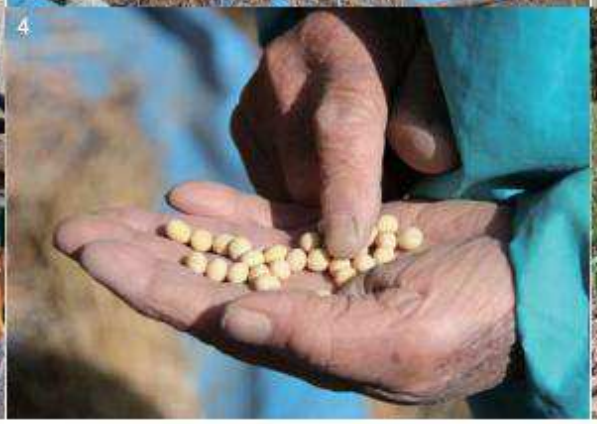
大豆を作って健康 食べて健康

村の特産品の一つである大豆。「まめで達者な村づくり事業」の根幹として始まった大豆栽培も今年で十年目を迎えました。

事業開始当初から参加している北條惠三さん（81歳）。以前から、自家製みそを作るために大豆を栽培していたという長年の経験を生かし、現在は約十六アール作付けをしています。

「ただ畑を遊ばせているよりは、





村づくりに協力しようと思って参加しました」と振り返ります。

苦労するのが害虫や雑草との戦い。以前は、脱粒や選別を手作業で行っていたといいますが、現在は脱粒機などの機械を利用しながら負担を減らしています。

「歳をとって容易でなくなったよ。今はできる範囲でやっているよ」と笑います。

また、大豆を栽培するだけでなく、「手・まめ・館」で販売している大豆加工品を積極的に消費しています。

「安心・安全で、自分たちが作った物を食べられることが幸せ」と、きな粉をヨーグルトに混ぜて食べたり、豆腐やおからを買ってきては家族に食べさせたりしているといいます。

現在、病気知らずの恵三さん。まさに「大豆を作って健康、食べて健康」を実践しています。

厳しい寒さを生かした昔ながらの保存食

これから冬本番。寒さがいっそう厳しくなり、昔ながらの保存食作りに最適な季節を迎えます。

「手・まめ・館」開所当初から、凍み餅や凍み大根などの保存食を出荷している矢吹イネ子さん（70歳）。昔はどこの家庭でも作られていたという保存食。軒先にずらりと並ぶ凍み餅などは、冬の風物詩でもありました。しかし、現在では、作る人の数は減り、蕨ノ草集落ではイネ子さん一人となってしまいました。

「親の手伝いをしながら、見よう見まねで作り方を覚えたんですよ」と話すイネ子さんが作る凍み餅は、ゴボッ葉（オヤマボクチ）を栽培するところから始まります。以前は山に自生していたゴボッ葉を使用していましたが、山の手入れが行き届かなくなり、採ることができなくなってしまったからです。収穫したゴボッ葉は干して乾燥させ、手でもんでから保存しておきます。また、餅はきねでつくというこだわりがあります。機械でついた餅とは味も食感も違うといいます。

「手間暇がかかっている分、おいしさが増すんですよ」とほほ笑みます。

鮫川村の冬の厳しい寒さを生かした保存食づくりは、村の気候に合っているからこそ、現在まで受け継がれてきました。「時期を逃しては作れない」と、正月早々から凍み餅づくりに励むというイネ子さん。「冬でも遊んではいられない」と意気込んでいます。

地域の「食」を見直す・守る・伝える

ふるさとの味を次世代に「食」を生かして元気な村に



ふるさとの味を伝承する郷土料理の普及、食育や地産地消の推進を目的とした『鮫川の郷土料理を楽しむ会（以下、「楽しむ会」）』は十一月十六日、村公民館で開催。村内外から多くの来場者が訪れ、鮫川村の「食」を堪能しました。

村内で生産された食材をふんだんに使った郷土料理のほか、学校給食センターの全国学校給食甲子園出場メニュー、山際食彩工房（会津若松市）・山際博美さんの創作料理、特産さめがわ合同会社の「じゅうねんおはぎ」、鮫川たんぼぼの家のギョーザやうどんなど、さまざまな料理が会場いっぱいに並び、来場者は思い思いに舌鼓を打っていました。

また、「楽しむ会」に先立ち、特産品開発や地産地消、農業振興を目的に実施している「第十回鮫川村アイディア料理コンテスト」および「第三回花まめコンテスト」の表彰式を開催。受賞者に表彰状と記念品を贈呈しました。

今年は、アイディア料理コンテストに十三点、花まめコンテストに十八点の応募があり、十一月八日に村公民館で厳正な審査が行われました。入賞作品は「楽しむ会」の会場に展示され、来場者は優れた作品に感心している様子でした。

伝統的な郷土料理と村内産食材を使ったアイディア料理が一堂に会し、地域の「食」を見直す機会となりました。

part. 2 「食」を生かした村づくり



最優秀賞に輝いた塩田恵美子さんの『炊飯器で作るかんたん「ライスバーグ」』

■最優秀賞（鮫川村長賞）＝『炊飯器で作るかんたん「ライスバーグ」』塩田恵美子（鎌木田）**■まめで達者な村づくり奨励賞（県南農林事務所長賞）**＝「ごはんの友エゴマ油」我妻幸子（落合）**■優秀賞（鮫川村商工会長賞）**＝「おもてなしおはぎ」落合里づくり協議会（落合）**■優秀賞（JA東西しらかわ鮫川支店長賞）**＝「米粉でつくる味噌プチシフォンケーキ」遠山陽子（沼野沢）**■福島民報社賞**＝「靴ピータロー」水野洋子（広畑）**■福島民友新聞社賞**＝「もちもち春巻き」羽田優希（内ヶ竜）**■入賞**＝「これ、なんだっぺ？」根本良子（岩野草）、「米粉でつくるきなこのプチシフォンケーキ」遠山陽子（沼野沢）、「漬けもの入り太巻きずし」我妻久子（落合）、「凍み餅大福」関根のぶ子（余所内）、「豆寿し」我妻トシ子（落合）、「山里風ごはんパンケーキ」進士由美子（葉貫）

第10回鮫川村アイディア料理コンテスト審査結果（敬称略）

VOICE 参加者の声



本郷 弘義さん
| 西山字落合在住 |

冷だれに感激

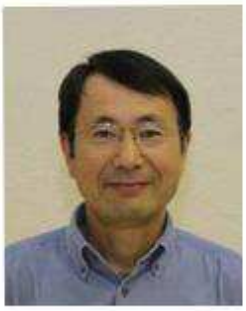
きんぴらがおいしかったです。家で作るものとは味付が違うので新鮮でした。「じゅうねんの冷だれ」は、おばあちゃんの世代でないとなかなか作れないので、久しぶりに食べて感激しました。子どものころから食べていたせいか、いくら食べても飽きない味です。



永林 敬子さん(右)
吉田 静枝さん(左)
| 須賀川市在住 |

素晴らしい「おもてなし」

昨年、初めて参加してよかったので、友人（吉田さん）を誘って参加しました。どの料理も味付けがよく、ふんだんに使われている地元の食材のよさを引き出していると思いました。また、村の方々が温かく迎えてくれて、素晴らしい「おもてなし」を受けました。



白坂 正さん
| 東京都在住 |

かぼちゃがおいしい

初めて参加しました。鮫川村出身なので、子どものころはよく凍み餅は食べていましたが、「凍み餅天」のような料理方法があるとは思いませんでした。どの料理もおいしく、特に「かぼちゃのサラダ」は、かぼちゃがホクホクしていておいしかったです。



「鮫川の郷土料理を楽しむ会」で、村内産食材をふんだんに使った料理を味わう来場者



最優秀賞を受賞した大平キヨ子さんの「紫花豆」

■最優秀賞（鮫川村長賞）＝「紫花豆」大平キヨ子（二反田）**■まめで達者な村づくり奨励賞（県南農林事務所長賞）**＝「黒花豆」石井トク（中沢）**■優秀賞（鮫川村商工会長賞）**＝「白花豆」舟木ミツヨ（寅卯平）**■優秀賞（ＪＡ東西しらかわ鮫川支店長賞）**＝「パンダ豆」関根タケ（余所内）**■入賞**＝「紫花豆」舟木ミツヨ（寅卯平）、「うずら豆」関根タケ（余所内）、「金時豆」大平キヨ子（二反田）、「黒花豆」坂本ミツヨ（岩野草）、「黒いんげん」関根フク（余所内）、「黒花豆」石井トク（中沢）、「うずら豆」関根マサ（余所内）、「紫花豆」関根マサ（余所内）、「うずら豆」佐藤春枝（遠ヶ竜）、「黒花豆」芳賀マサノ（摺合）、「白小豆」芳賀マサノ（摺合）、「紫花豆」北條サキ子（押目）、「白ささぎ」関根のぶ子（余所内）

第３回花まめコンテスト審査結果（敬称略）

「食」が取り持つ農村と都市のお付き合い

都市との交流を通して鮫川村の「食」の魅力を発信

村では、東京都北区との交流を進めています。平成八年から王子銀座商店街との交流が始まったのがきっかけで、平成十八年からは北区の秋の一大イベント「ふるさと北区区民まつり」に参加。また、昨年度からは「北区食育フェア」での物産販売など、村の「食」の魅力を発信しています。

さらに、昨年度から「農村体験ツアー」で北区民が来村し、村の郷土料理などを堪能。今年九月には北区民を対象とした料理教室を北区赤羽で開催するなど、「食」を通した交流が深まっています。

村では今後も、北区との交流を通して鮫川村の「食」をアピールしていきます。











1.東京都北区の秋の一大イベント「ふるさと北区区民まつり」では、鮫川村産の農産物や加工品が人気を集めています　2・3.農村体験ツアーで鮫川村を訪れ、郷土料理づくりや野菜収穫を体験する北区民の方々　4・5.北区民を対象に開催した出張料理講習会「まめで達者な料理教室」。村食生活改善推進員「ひまわりの会」のメンバーが講師となり、村内産の食材をふんだんに使った料理を作りました

part.3 「食」で深まる都市との絆



矢吹さつきさん
｜ひまわりの会 会長｜

村の「食」を見直す機会に

私たちが何気なく食べている郷土料理をとても喜んで食べてくれたことで、受け継いでいかなければと、鮫川村の「食」を見直す機会になりました。また、北区健康づくり栄養グループ「食彩」の活動から刺激を受けて、私たちもさらに頑張ろうと思います。



藤田 敏江さん
｜手・まめ・館 勤務｜

顔なじみが多い

北区には、鮫川村の農産物などを食べて、「おいしかった」と何度も買いにきてくれる顔なじみのお客さんが何人もいます。「次はいつ来るの」と待っていてくれるので、とてもうれしいです。これからも、北区との関係をつなげていきたいと思います。

INTERVIEW



伊藤 元司さん
| 東京都北区産業振興課長 |

生産地を応援することが私たち都市部の住民の役割だと思っています

私は、鮫川村と親戚のようなお付き合いをしたいと思っています。東京都は生産地ではありませんし、特に北区にいたっては農家が１軒もありません。そのため、安全で新鮮な物を食べるためには、鮫川村のような生産地を応援することが私たち都市部の住民の役割だと思っています。生産者が作った農産物を買い、食べることで少しでも作り続ける人が増えればと考えています。

東京都に限ったことではありませんが、生鮮食品を売る個人商店が減っている状況です。大型スーパーなどは安価で品ぞろえが豊富である一方、生産者の顔が見えにくく、料理方法や食べ方を教えてもらうこともできません。

以前は「食べ物は安ければいい」という感覚がありましたが、震災や食品偽装問題などから、安心・安全な食べ物、質にこだわる人が増えています。鮫川村は、大量生産はできないかもしれませんが、生産している物に責任を持っているように感じます。生産された一つ一つの農産物に「丹精込めて」という言葉が合っています。このように、手作りのよさを大切にしているところが、都市部の住民にとって魅力的に映るのです。だからこそ、鮫川村と交流したいと思っています。

私たち都市部の住民が地方を思い描くとき、真っ先にその地方の料理や食材を考えます。レストランのシェフが作るような料理ではなく、家庭で作られている素朴な料理に魅力を感じ、郷土料理を食べたいと思います。「一汁三菜」といった昔から受け継がれてきたシンプルな「食」が好まれているのです。

自分たちが作った農産物で料理をして食べられる。こんなにも安心・安全でおいしいものはありません。それができる鮫川村には「おふくろの味」を大切にしてほしいと、よそ者ながら勝手に思っています。

私たち消費者が生産者の顔を知りたいように、生産者も消費者の顔や声を知りたいのではないでしょうか。そういった相互の交流が持てれば、付加価値がある物を適正価格で販売していけるのではないでしょうか。

鮫川村の農産物を食べることで鮫川村を知る。そういったことの繰り返しで、私のように「鮫川村に住んでみたい」と思う人も現れるかもしれません。北区健康づくり栄養グループ「食彩」のメンバーの中にも、何度も鮫川村を訪れている人がいるということは、「また来たい」と思わせる魅力があるからです。鮫川村の豊かな「食」はもちろんですが、きれいな水と土壌、空気がある自然、村の方々の人柄、そういったものが私たちを引きつけているのでしょう。



沼田 茂さん・恵子さん
| 東京都北区赤羽台在住 |

料理のおいしさに感動

今年、「農村体験ホタルツアー」で初めて鮫川村を訪れました。村の人たちの人柄のよさ、そして、凍み餅や凍み大根などの郷土料理のおいしさに感動しました。また、大豆やエゴマの加工品がバラエティーに富んでいるのも素晴らしいと思います。



新沼 清子さん
| 東京都北区豊島在住 |

農産物がとても新鮮

鮫川村の農産物はとても新鮮で、そのよさが料理に生かされています。「鮫川の郷土料理を楽しむ会」に参加して、村が郷土料理などの食文化に力を入れていると感じました。私たちも参考にして、北区の食事会などに生かしていきたいと思います。

インタビュー●山際食彩工房代表・山際博美さんに聞く

地域の食文化の魅力を追求することが大事です

春になれば山菜が採れ、夏になれば野菜が豊富になり、秋になれば新米を食べ、冬になれば保存食を作る。日本的な食生活は先人の知恵から学ぶことが多く、これらを伝承しなくてはいけないと思います。

鮫川村の「食」は地域に根ざしていると感じます。普段から郷土料理、行事食が食べられているのも素晴らしいことです。また、よりよい農産物を作るために土壌からこだわり、安全で安心な作物を作ろうと努力しています。また、地元の素材を使ったアイディア料理コンテストを開き、それらを学校給食、加工食品などとして生かすことを考え、おのずと地産地消が当たり前になり、それを実行しているところが素晴らしいと思います。また、「鮫川の郷土料理を楽しむ会」が定着しているのも素晴らしいことです。

これからは、地域の食材による郷土料理など、昔から伝わる日本型の食生活を見直し、地域の食文化の魅力を追求することが大事になると思います。しかし今、食文化は料理そのものの魅力のことを指し、いわゆる郷土料理というだけでは評価されなくなりつつあります。さらに、大量生産・大量販売など流通の発達によって、地元産の素材や固有性を訴えることも難しくなっています。

鮫川村は、快適で楽しい食事空間と、安全でおいしく、そして地域文化を表現した「食」を提供できる環境にあると私は感じています。その素材となる農産物が大変豊富です。これからは、それらの情報を発信し、充実させていくことが課題になっていくのではないでしょうか。

鮫川村の方々はとても元気です。大豆、じゅうねん、かぼちゃ、花豆、そのほかにも、さまざまな加工品がたくさんあります。これらを地域の活性化に向けて今後も作り続けて、地産地消のパイオニアとして頑張っていただきたいと思います。



やまぎわ・ひろみ●昭和35年生まれ。高校卒業と同時に郡山グリルセイキで修業。その後、ホテル西村、レストラン等を経て、1987年にリゾート旅館「ヴィライナワシロ」（猪苗代町）に入社。現在は、ヴィライナワシロ調理顧問、山際食彩工房（会津若松市）代表。福島県食農サポーター、同農業振興審議会委員、農林水産省地産地消の仕事人、同地産地消普及拡大企画委員など、数々の役職を務める。鮫川村アイディア料理コンテストでは、第3回目から審査委員長を務める。




安心・安全な農産物
昔から伝わる郷土料理
さめがわの豊かな「食」は
里山の「お・も・て・な・し」

特集2●村民（みんな）の店「すまいる」オープン

笑顔あふれる地域に…



買い物弱者支援、地域や商店の活性化などを目的とした『村民（みんな）の店「すまいる」』が十一月十日、図書館の隣にオープンしました。コンセプトは「村民の笑顔がみたい…買い支え・心のお店」。スタートしたばかりで、多くの可能性を秘めているお店をご紹介します。

買い物弱者支援など地域活性化につなげる

村内商店・事業所の減少や高齢者世帯の増加が進むにつれ、日常の買い物に不便を感じる「買い物弱者」が増えています。この対策として、村商工会と村では、経済産業省の地域自立型買い物弱者対策支援事業の採択を受け、空き店舗を活用した『村民（みんな）の店「すまいる」』を開設しました。この店舗は買い物弱者支援はもちろん、店舗内の休憩スペースを利用した地域住民のコミュニティ再生を促す複合型施設で、新たな雇用の創出も目的の一つとしています。

食料品から日用雑貨幅広い品ぞろえ

店舗には、食料品から日用雑貨、村の特産品などが並び、幅広い品ぞろえとなっています。商品は、村内の十七商店・事業所と連携し、仕入れを行っています。これによって、既存商店の活性化につなげるねらいがあります。今後、利用者の要望などを取り入れて品ぞろえを充実させていく予定です。

また、店舗販売のほか、宅配や移動販売を十二月中に開始する予定で、既存の移動販売を行う商店









1．食料品から日用雑貨まで、さまざまな商品が並んでいます　2．誰でも気軽に利用できる休憩スペースは、使い方いろいろ　3．「すまいる」スタッフの皆さん。お客さんが入りやすい雰囲気づくりを心掛けています

と協議・連携を図りながら計画を進めています。これにより、村民の利便性を向上させるだけではなく、高齢者世帯などの安否確認やコミュニケーションを図り、安心して生活できる環境づくりにも取り組んでいきます。

買い物だけではなくコミュニティの場としても

店内には、商品が並んでいるだけではなく、広い休憩スペースを設けています。放課後の子どもたちが保護者の迎えを待ったり、高齢者のよりどころになったりと、子どもから高齢者までが気軽に利用できる場所となっています。また、このスペースを利用したイベントなどの開催も視野に入れ、新たなコミュニティ形成の場として、地域に根ざした店舗を目指していきます。

今後、さらに多くの方に利用してもらえる店舗になるよう、皆さんの意見や要望などをお寄せください。

村民の店「すまいる」

営 午前９時～午後７時30分
（12月30日、１月２日は午前９時から午後６時まで）
休 毎月第１木曜日
12月31日、１月１日
所 大字赤坂中野字新宿64番地１
☎ 57-6901　FAX 57-6902

INTERVIEW



村民（みんな）の店「すまいる」
店長　**須藤真紀**さん

お客様からは「近くで買い物ができていい」「地域が明るくなった」などの声をいただいています。皆さんの声を聞きながら、「お店があってよかった」と言ってもらえるような店づくりをしていきたいと思います。これからは、宅配や移動販売も行っていきます。「高齢者の足」になれるように努力していきます。

「笑顔が集まる。笑顔でつながる」ようなお店の雰囲気づくりをし、村全体の活性化につなげられるようにしたいです。

スタッフ一同、皆さんのお越しを笑顔でお待ちしております。

VOICE



藤元良子さん
優雅くん
（赤坂西野字蕨平在住）

図書館で待っている子どもの迎えのついでに、お店に入りました。子どもが「お腹がすいた」と言うので、子どものおやつと不足している食材を買いました。

思っていたよりもいろいろな物を売っていて、スーパーが凝縮されたようなお店ですね。



鈴木一良さん
（赤坂中野字新宿在住）

車を運転できないお年寄りにとって、近場で買い物ができるということは、とても助かると思います。

また、買い物をするだけの場所ではなく、休憩スペースを利用してお年寄りがお茶飲みをしたり、イベントを開催したり、交流の場としても使っていきたいです。

児童扶養手当を支給しています

児童扶養手当とは　離婚や死別などの理由で母親もしくは父親のみで子どもを育てている「ひとり親家庭」に対して、生活の安定と自立を促進するため設けられた制度です。
※平成22年8月1日から父子家庭にも支給しています。

申請方法　申請に必要な書類は家庭の状況により異なりますので、村住民福祉課福祉係へご相談ください。

支給方法　原則として、申請した月の翌月分から手当を支給します。毎年4月、8月、12月の年3回、請求者の希望した金融機関の口座に振り込みます。

継続の手続き　継続して児童扶養手当を受けるには、年に1回、8月に児童の養育状況や前年の所得を確認するための現況届を提出することが義務付けられています。基本的に8月1日から31日までの間に提出し、2年間提出しないと受給資格がなくなりますので、ご注意ください。

問　村住民福祉課福祉係☎49-3113

■**児童扶養手当の支給対象**（所得制限があります）

対象年齢	18歳に到達して最初の年度末（3月31日）まで（心身に一定の障がいがあるときは20歳未満）
該当する児童	●両親が離婚してひとり親家庭である（母子家庭・父子家庭） ●父または母が死亡した ●父または母が一定程度の障がいの状態にある ●父または母の生死が不明 ●父または母に遺棄されている ●父または母が1年以上拘束されている ●母が未婚のまま子どもを産んだ場合 ●孤児 上記のいずれかの要件に該当し、養育者（父母以外でも養育者であれば対象）の所得が一定水準以下の場合に支給されます。
支給対象外	●日本国内に住所がない ●父や母の死亡に伴う年金・労災などを受給できるとき ●父または母の年金の加算対象になっているとき ●里親に委託されているとき ●父または母と生計を同じくしているとき（父または母が障がい者の場合を除く） ●父または母が再婚し、その連れ子として養育されているとき ※法律上の届け出をせずに、実態として婚姻同様の生活を行っている場合（いわゆる事実婚）も対象外となります。

※請求者が老齢福祉年金以外の年金を受けている場合には、受給者になれませんので注意してください。

■**支給月額**（平成25年10月1日改定）

児童の人数	全部支給のとき	一部支給のとき
1人	41,140円	所得に応じて9,710円～41,130円（10円きざみ）
2人	5,000円加算	
3人以上	1人につき3,000円加算	

仮設焼却施設周辺 空間線量の測定結果

村仮設焼却炉監視委員会では、毎週金曜日に仮設焼却施設周辺の空間線量を測定しています。なお、仮設焼却施設周辺の空間線量測定結果と関連ファイルについては、村および環境省のホームページで公表しています。

問　村地域整備課環境係☎49-3196

■**施設周辺の空間線量**（11月22日実施）　［μSv/h］

モニタリングポスト測定値	測定箇所	測定値
	仮設焼却炉入口	0.13
	青生野小学校	0.12
	朝日山登山道入口	0.11
	青生野肥育組合	0.15
	鹿角平観光牧場	0.10

仮設焼却炉周辺の測定値	測定箇所	測定値
	施設東側120m	0.14
	施設南側120m	0.17
	施設西側120m	0.18
	施設北側120m	0.20
	仮置場看板付近	0.10
	石久保線起点	0.16
	石久保線終点	0.15
	和協管理棟付近	0.16

ひとり親家庭医療費助成制度

ひとり親家庭および父母のいない児童に対して医療費の一部を助成します。

助成対象　次のいずれかに該当する方／①18歳未満の児童を監護している配偶者のいない父親または母親とその児童／②父母のいない18歳未満の児童

助成条件　児童扶養手当の支給要件と同じです。

助成内容　対象者が医療機関で受診した月の支払い額の合計から1000円を控除した額を助成します。ただし、同一月の医療費の合計が1000円未満の場合は助成されません。

申請方法　①登録申請をし、受給者証の交付を受けます。／②医療機関にかかる際に受給者証と助成申請書を提示し、支払った医療費の証明を受けます。／③医療機関の証明を受けた助成申請書を役場に提出し、審査後に支給決定され、指定口座に振り込まれます。

問　村住民福祉課福祉係☎49-3113

特別児童扶養手当を支給

支給対象　20歳未満で、身体または精神に一定の障がいのある児童を監護している父親もしくは母親、または父母に代わってその児童を養育している方（所得制限があります）。

支給対象外　次のような場合は手当を受けることができません。／①手当を受けようとする人、対象となる児童が日本に住所がない場合／②児童が肢体不自由施設や知的障がい児施設などの施設に入所している場合／③児童が障がいを理由として厚生年金などの公的年金を受けることができる場合

問　村住民福祉課福祉係☎49-3113

農産物等放射性物質測定結果

村内で栽培・採取された農産物等の放射性セシウム測定結果を公表します。結果はあくまでも参考値ですので、目安としてください。

また、村では現在も放射性物質の検査を受け付けています。ぜひ、ご利用ください。

【注釈】
①放射性セシウムは134と137の合算値です。
②検出限界値未満を「不検出」と表示しています。
③空欄は測定実績がありませんでした。
④同じ地区で複数ある場合は、最小値と最大値を表示しています。

10月16日～11月15日検査　［ベクレル/kg］

検査試料	赤坂西野	西　山	赤坂中野	東　石	富　田	渡　瀬	青生野
里芋	不検出	不検出	不検出	5	不検出		
大根	不検出	不検出	不検出	不検出～27	不検出		
白菜	不検出	不検出	不検出	不検出～7	不検出		
カボチャ	不検出	不検出	不検出	不検出～5			
サツマイモ			不検出	不検出	不検出		
ホウレンソウ	不検出		不検出		不検出		
小松菜	不検出	不検出		不検出	不検出		
ニンジン		不検出		不検出	不検出		
ブロッコリー	不検出		不検出	不検出			
柿	不検出		不検出			不検出～6	
トロロイモ		不検出		30			不検出
柚	不検出～22	17					
ジュウネン		不検出					不検出
ナメコ	25～41		41	65			135
ネズミシメジ				62～258			
イノシシ肉	160～207			99～438	115	199～346	418

■問い合わせ　村農林課☎49-3114



初の全国大会出場という緊張の中
普段通りの跳躍で自己ベストを更新
今後の目標は、中体連全国１位
さらなる高見を目指す

須藤悠太さん 鮫川中２年
YUTA SUTO

全国大会で堂々とした跳躍をする悠太さん　（写真提供：鮫川中学校）

ジュニアオリンピック陸上競技大会《走り幅跳び》

初の大舞台で躍動 全国3位に輝く

鮫川中学校二年の須藤悠太さんは、十月二十六日、二十七日に日産スタジアム（横浜市）で行われた「第四十四回ジュニアオリンピック陸上競技大会」に走り幅跳びで福島県代表として出場。大会では、自己ベストを十八㌢上回る六㍍三十五㌢を記録し、見事全国三位入賞を果たしました。

「初めての全国大会出場ということで、会場の大きさやプレッシャーに押しつぶされそうでした」と、大舞台での緊張を話した悠太さん。「でも、跳躍をするときには何も考えず、普段通りの自分の競技ができました。自己ベストを跳ぶことができて、とてもうれしいです」と笑顔を見せました。

「これからは七㍍を目標にして、来年の中体連では全国一位を取りたいです」と、すでに来年を見据えて、目標を立てて日々の練習に取り組んでいます。

今後は、各種練習会などにも参加して筋力強化や技術力向上を図り、さらなる高見を目指します。





右／３位入賞の表彰状とメダルを手にする悠太さん。
上／日々の練習は、部員全員で基礎練習をしたあと個人練習をします。

moe・ryoku／緑のふるさと協力隊・遠山陽子さんの鮫川村体験記





1. 鮮やかに色づいたもみじ
2. 鮫川小5年生の収穫祭。5月から田植えや稲刈り、脱穀を一緒に体験し、収穫したお米で餅つきをしました。





3. 米粉で作ったシフォンケーキ。みそ入りときな粉入りの2種類を作りました。
4. 道端で見つけたナデシコ

紅葉の鮮やかさに感激!!

寒いです。冬本番を前に、早くもこたつとストーブが活躍し始めています。まだ湯たんぽと厚手の毛布は出さずに頑張っていますが、近々引っ張りだそうと思います。

寒さはつらくなってきましたが、紅葉がきれいで感激しっぱなしです。紅葉の盛りにはカメラが手放せず、どこを撮っても絵になりそうです。ただ残念なのは、写真にするときれいさが半分以下になってしまうこと。なので、しっかり心のカメラに記憶しておこうと思います。

はせ掛けしていた稲も乾き、ついに脱穀。実は私、脱穀を見るのも作業するのも初めて。田植えと稲刈りは鮫川にくる以前にやったことがありますが、脱穀だけはないのです。作業のお手伝いをして思ったのは意外と大変。でも、稲を機械に通すだけでお米と稲わらに分かれるのは見ていて不思議でした。

春から手間をかけて作るお米。そんなお米が今回のアイディア料理コンテストのテーマだったのですが、実は私も参加しました。ちなみに、作ったのは実家にいたころからよく作っていたシフォンケーキ。本来なら小麦粉を使うのですが、今回は米粉に置き換えてさらにひと工夫したものを二品ほど出品。何度も試作を繰り返して、時には味見をしてもらいながら作ったケーキは、結果うんぬんよりもおいしいと言って食べてもらえたことが何よりもうれしかったです。今度は何を作ろうかな。

鮫川に来てから車移動が基本だったので、家から落合地区までの約四キロを歩いてみることにしました。普段はあっという間に通り過ぎてしまう所も、歩いてみるといろいろな発見があります。道端にナデシコが咲いていたり、ススキの穂がふわふわになっていたり、秋晴れのぽかぽか陽気、太陽の光を受けて紅葉はキラキラ光っていました。何より、いつも以上に時間がゆっくり流れているように感じました。

ついに今年も一カ月で終わりということに驚きつつも、小春日和の陽気にのんびり日向ぼっこして過ごしたくなってしまいます。

子どもたちの思いが結集「こころのうた」を作成



作成された「こころのうた」

村青少年健全育成推進協議会では、「第18回少年主張大会」「第17回こども俳句・短歌・詩のコンクール」「第６回家族への短い手紙」の作品をまとめた「こころのうた」を作成しました。各公共施設などに置いてありますので、ぜひご覧ください。

鮫川中体育館の一文字幕など更新
鮫川運送㈱から村へ寄贈


目録を手渡す芳賀一代表取締役社長

鮫川運送株式会社から村へ、鮫川中学校体育館用の一文字幕と袖幕が寄贈されました。平成３年に寄贈された一文字幕などの更新のためで、贈呈式は11月18日、役場村長室で行われ、芳賀一代表取締役社長（写真左から２人目）から大樂村長に目録が手渡されました。

栄えある受賞

赤坂基さん「福島県知事表彰」 田子一夫さん「県統計協会名誉会長表彰」を受賞





統計調査に長年にわたり従事し、顕著な功績をあげたとして、赤坂基さん（写真上）が統計功労者として「福島県知事表彰」を受賞。田子一夫さん（写真下）が「福島県統計協会名誉会長表彰」を受賞しました。赤坂さんは、11月１日に福島市で行われた「福島県統計功労者表彰式」に出席し、表彰を受けました。また、田子さんには同月５日、役場村長室で表彰状が伝達されました。

白河総合美術展で芳賀愛子さん「市長賞」 水野博和さん「教育長賞」を受賞



「第59回白河総合美術展」の洋画部門で、芳賀愛子さん（写真右）が「市長賞」、水野博和さん（写真中央）が「教育長賞」を受賞しました。芳賀さんは、そうめんの滝の清流を力強く描いた作品「そうめんの滝」、水野さんは天狗橋と新緑のみどりを組み合わせた「若葉の天狗橋」を出展。

11月５日、奥貫洋教育長に受賞を報告し、喜びを新たにしました。

村政TOPICS

万が一に備えて 火災防御訓練を実施

秋季全国火災予防運動期間中の十一月十日、火災防御訓練が赤坂西野字前折戸地内で行われました。

「通行人のたばこ投げ捨てにより枯れ草に着火。山林に延焼拡大し、民家に火勢が迫っている」との想定で、棚倉消防署鮫川分署と村消防団により、通報から出動、放水などの消火訓練が繰り広げられました。消防団員らは、万が一に備えて機敏な動作で訓練に臨んでいました。


放水訓練を行う消防団員

交通安全の決意新たに 東白川地方大会

交通安全東白川地方大会は十一月十三日、村農業者トレーニングセンターで行われました。

大会会長を務めた大樂村

ほっとニュース

学習の成果を披露
2つの小学校で学習発表会

村内2つの小学校の学習発表会は10月に開催され、子どもたちが日ごろの学習の成果を披露しました。

鮫川小の学習発表会「さめっ子フェスティバル」は10月26日、青生野小は同月27日に開催。鮫川小では、合唱部の発表や劇、ボディーパーカッション、合奏など学年ごとに趣向を凝らした発表が行われました。また、青生野小では、ダンスや創作劇、児童・保護者・地域の方が一つになっての合唱などを披露し、会場に詰めかけた家族らから、大きな拍手が送られました。





上／鮫川小6年「心をひとつに」
左／青生野小3・4年「青生野の森の誕生会」

生徒たちの創意工夫を一般公開
修明高校鮫川校の「山峡祭」



手芸部の作品を販売する生徒たち

修明高等学校鮫川校の学校祭「第14回山峡祭」は11月9日、「最高な仲間と最高の思い出を！青春は爆発だ！」をテーマに開催されました。文芸部の作品展示やカフェ、お化け屋敷などが企画されたほか、午後には合唱部発表や芸術鑑賞会が行われました。

思いを言葉と歌にのせて
少年主張大会・音楽発表会



堂々と意見を発表した主張大会

第18回少年主張大会、第12回音楽発表会は11月3日、村公民館で行われました。

主張大会では、小・中学生、高校生が日ごろ考えていることや訴えたいことを堂々と発表。音楽発表会では、小・中学生が美しい歌声を披露しました。

村政TOPICS

12月4日～10日は「人権週間」です

人権週間に先立ち十一月三日、村公民館で村人権擁護委員の皆さんが人権思想の普及と意識の高揚を図るため啓発活動を行いました。一人一人にチラシなどを配り、人権尊重を呼びかけました。



人権尊重を呼びかけた啓発活動

長があいさつ。優良運転者などを表彰したあと、被害者支援に関する講演が行われました。参加者は、地域一丸となり交通安全に取り組む決意を新たにしました。



鮫川会場で行われた地方大会

村民【随想】リレー ―― 185

生田目真弓さん

出会いと夢

私が鮫川村に嫁いでから六年が経ちました。初めは、鮫川村での生活に不安もありましたが、バレーボールでの交流や家族ぐるみでたくさんの人と出会うことができ、支えられ、今では女の子三人の母としてとてもうれしく、幸せを感じながら毎日を過ごせるようになりました。

鮫川村は、自然豊かで温かい人が多くいるので、子育てをしていく上でとても良い環境だと思います。子どもたちにも、ここでの生活の中でたくさんのことを学び、人に優しく、伸び伸びと成長してほしいです。

そんな中で、私には美容室を経営したいという夢があります。高校卒業後、埼玉県桶川市にある美容室に就職し、山野美容専門学校の通信科に通いながら美容師免許を取得しました。技術職は厳しい面もありますが、とても幅広く楽しい仕事でもあり、たくさんの出会いもあります。ブランクもありますが、美容業に戻り今までの経験と技術を生かし、お客様の笑顔がたくさん見られる店を目標に頑張りたいと思います。

そして、支えてくれる家族や出会えた友人、周りの方々への感謝の気持ちを大切にして、これからも成長していきたいと思います。■

次は、鈴木光さん（赤坂西野字大塩）にバトンタッチ！



なまため・まゆみ●昭和56年12月生まれ。赤坂東野字広畑在住。主婦。趣味は「キャラ弁」作り。中学時代恩師の言葉「苦しいときは前進している」が心に残っている。

MAYUMI NAMATAME

俳句

小鳥来る部屋に小さな民話本　中井　恒峯
長き過去短き未来秋桜　北條　平
はぜ掛けに群がる筈の雀なし　北條素人坂
風船かずらぷくり赤子の尻に似て　鈴木　米子
元気よく月見どろぼうやってきた　斎須　信子
秋時雨物干し竿に数珠光る　黒田　寿香
枕頭の川音高しばさり雨　土　竜庵
この米飯も検査コンベア通り来る　松本　精一
秋祭り雨の奉納相撲かな　山本　恵子
ロープウェー秋三様の鵜見岳　前田　縫子
休耕の田面彩る赤のまんま　山本五十鈴

短歌

旬のもの旨いと云われ採り来ては　露の皮剥く香りを愛でつ　鈴木イミ子
嫁ぎ先農家で良かったと今更に感　深くする　野菜畑に　佐藤　春枝
畑には畑のいのち細やかに手入れ　を待ちてかがやける土　矢吹　定子
朝な夕花に囲まるわが屋敷　増え　て囀る小鳥の群れも　須藤　幸子
鈴生りの柿の実今年も捥がるなく　土手の地肌を染めて落ちつぐ　水野　珠子
辿りゆく山路に匂う百合の花　蝶　の一つが舞え降りて来る　関根　瑞恵

さめがわを彩る集い21

支え合いながら美しいハーモニーを奏でる



コーラスさめがわ

齋須信子代表／会員８名

コーラスさめがわの歴史は古く、約四十年前に結成されました。これまで、地元の学校に赴任してきた音楽の先生の指導で活動を続け、現在は塩井和歌子さん（棚倉町）の指導を受けながら日々練習をしています。今年、新たにメンバーが加わり、さらに活気づいています。

メンバーは村内に限らず白河市など村外からも参加し、少数精鋭でお互い支え合いながら美しいハーモニーを奏でています。「一年かけて全員で曲を作り上げていき、きれいにハモれたときが気持ちいい」と魅力を話します。また、うまくできた瞬間をみんなで共有できる幸せがあるといいます。

これからは、さらにハーモニーに厚みを出せるようにメンバーを増やし、来年、鮫川村を会場に開催される県南女声合唱祭を成功させたいと意気込みます。

Book

図書の缶詰
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

神去なあなあ日常（かむさり）
（三浦しをん著、徳間書店）



横浜育ちの平野勇気が高校卒業と同時に放り込まれたのは、三重県の山奥にある神去村。１年は帰れないという。100年単位の山仕事をする村人たちの口癖は「なあなあ」。四季の移ろい、48年ぶりの大祭…村での1年間を描いた1冊。

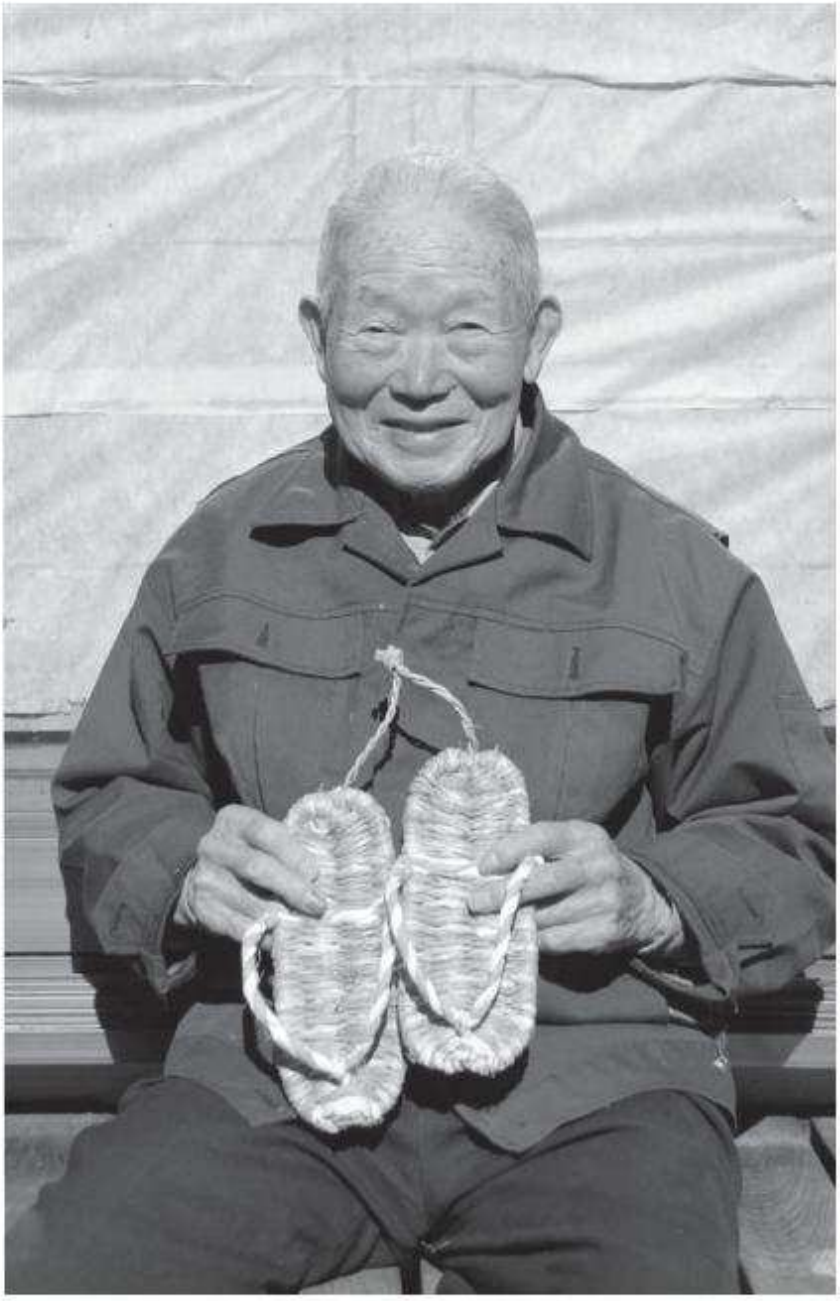
夢に向かって泳ぎきれ
（入り江陵介監修、あかね書房）



「ぼくを支えてくれた人たちをぼくの泳ぎで笑顔にしたい」。何度も悔し涙を流してオリンピックのメダルを手にした入江陵介選手、努力する天才といわれている。目標に向かって努力することの大切さを分かりやすい言葉で教えてくれる。

第３土曜日は 家族一緒に読書の日

どのような報いあろうと堅実に生きて些かも悔いなかる日々　溝井　清乃
一日も欠かさず通う畑には　土の光りて培う　野菜　坂本　伊紀
人生をほがらほがらに生きよとぞ告げて耀う　朝茜雲　一平　子
曾孫よりねだられサツマの芋堀に託々と掘りいる園児に交じり　石井　幸子
長寿会メーンの湯入り研修も盛会裡にすみ次なる事業に　須藤シツエ
孤独でもいじけちゃならぬ世の恩義人の情が身にしみるとき　松本　一郎
戦災を受けしわが身をいたわりて接しくれたる人々忘れず　前田喜三子
友愛は金より大事な宝物病気し人生の意味を悟りぬ　関根ヨネ子
稲スズメタ暮れ時を賑やかに送電線にと行きつ戻りつ　藤田千代子
老いたれば後を見ずしてこの先を楽しまねばと友と微笑み　関根ハナヨ
夕陽うけ柿の実紅く映えいずる食欲さそう秋のひとこま　関根　富久
館山に紅葉狩りして思いみる真夏の汗せし色滲みいづるを　板橋　源良
小雨降る淋しき秋の庭隈に紅きさつきの返り花咲く　関根キヌ子
汚染水漏れや放水深刻化耳目に触れくる連日の如く　矢吹　一二
山里の刈田は点々と狭間なる作付放棄地の草叢目立つ　北條　平



啓さんが子どものころは、自分が履く草履は自分で編んでいたといいます。

あなたの光る技
キラり
Vol.17



70年以上作り続けている啓さんでも、1足作るのに約半日。手作りなので1つとして同じものはできません。

わら草履
矢吹 啓さん
やぶき・ひらく／赤坂西野字大塩／91歳

わら草履作りは冬場の仕事
先人が築いた基礎を現在に伝える

昔は冬期間の仕事として農家が集まって作っていたという「わら草履」。農家の子どもは、誰に教わるでもなく見よう見まねで作り方を覚えました。しかし、今では村内で作れる人も数えるほどになってしまいました。その一人が矢吹啓さんです。

「昔の人が基礎を作って、自分たちはそれをまねているだけ」と先人の知恵に感心しています。

草履を編む前の準備が大切と話す啓さん。わらをぬらし一晩寝かせたあと、しっかりとわらを叩きやわらかくします。準備ができたわらをもじり草履の芯を作り、足にかけます。編み始めは「鼻頭」。ここで草履の形がほとんど決まってしまうので、きちんと編まないときれいに仕上がりません。個性が出るところでもあります。

少し編んでは芯を引っぱり、草履を固く締めていきます。編んで余ったわらを草履の下に引っぱり、さらに固く締めるのが啓さんのひと工夫です。最後に、履き心地が滑らかになるように、わらで草履の表面をこすって完成です。

若者の広場　No.108

Young Plaza

塩田弘樹さん

フレンドリーな人が多い村



しおだ・ひろき
平成４年１月20日生まれ　21歳
ＡＢ型　みずがめ座
趣味は車いじり
石井草字関ノ上在住

■今、夢中になっていることは何ですか？

車いじりと舗装されていない山道などを車で走るクロスカントリーにはまっています。休みの日は、友達と車いじりをしていることが多いです。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

今年、水上バイクの免許を取ったので、来年の夏から始めたいです。いずれは、水上バイクを買いたいと思っています。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

鮫川村は空気がきれいで自然が豊かです。また、気軽に話しかけてくるようなフレンドリーで気持ちのいい人が多いのも鮫川村のいいところだと思います。

■鮫川村に要望などはありますか？

このまま変わらないでほしいです。コンビニがなくても、それに慣れているので不便に思ったり困ったりすることもありません。

■

次は水野暁隆さん（赤坂東野字官代在住）の予定です。

学校だより
(110)

鮫川小学校編

鮫川小、充実の秋

■少年主張大会・音楽発表会

六年の須藤楓さんと五年の北條綾乃さんによる作文発表や県大会で銀賞を獲得した合唱部の素晴らしい発表がありました。

■マラソン記録会・給食試食会

練習の成果を発揮し、参加者全員が見事完走しました。また、給食は「いただきます。ふくしまさん」事業の補助を受け、地元福島県産、鮫川村産の食材を利用したメニューでした。保護者の方々に各教室で試食していただき、大好評でした。



給食試食会



マラソン記録会

マラソン記録会の一位入賞者は次のとおりです。

【一年】男子　小松琉眞
女子　水野谷花菜
【二年】男子　水野陽亮
女子　渡邊咲来
【三年】男子　坂本大夢
女子　鈴木　結
【四年】男子　高野敦輝
女子　須藤玲奈
【五年】男子　円井純一
女子　北條佑奈
【六年】男子　関根清也
女子　北條七海

■鮫川村合同修学旅行

青生野小と合同で、会津若松方面へ行きました。鶴ヶ城や飯盛山などの観光名所を中心に、班別に自由散策を行い、思い出に残る楽しい旅行となりました。



村合同修学旅行

（文・写真／鮫川小学校）

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

催し

東白川あったか冬まつり

障がい者の自立と地域での共生を目的に、東白川地区の障がい者支援施設が共同で企画。障がいの有無に関わらず、障がい者と地域住民が共に楽しめるイベントです。

主催 東白川あったか冬まつり実行委員会

日時 12月7日（土）午前10時～午後1時

場所 道の駅はなわ

内容 文化琴、吹奏楽、和太鼓の演奏やよさこい踊りの披露など

問 東白川あったか冬まつり実行委員会（鮫川たんぽぽの家）☎49-2022

案内

県民手帳・県勢要覧を販売しています

村では、福島県統計協会発行の「2014福島県民手帳」「福島県勢要覧」を販売しています。希望される方は代金を持参の上、役場企画調整課または住民福祉課窓口でお求めください。

福島県民手帳（別冊付）▼価格…500円（税込）▼内容…月間ダイアリー、週間ダイアリー、充実した統計データ（全国から見た福島県、都道府県勢一覧など）、日常生活に役立つ便覧（災害発生時の連絡先、年齢早見表、くらしの相談窓口、県庁・県出先機関一覧、主要国機関、福島県の道の駅、福島県の1日など）。

福島県勢要覧（B6判・308ページ）▼価格…1500円（税込）▼内容…県勢全般がわかるコンパクトな総合統計書（わかりやすい図表入り）。県および県内市町村の最新統計資料を網羅（自然、人口、産業、所得・物価・地価、行財政、福祉、教育、観光、県内市町村勢一覧、都道府県勢一覧、社会生活統計指標など）。

問 村企画調整課企画振興係☎49-3115

NTT東日本の電話帳をお届けします

NTT東日本では、12月中に順次、新しい福島県版の電話帳を各家庭や事業所にお届けします。現在お使いの電話帳は、お届けの際に回収しますので、配達員にお渡しください。

なお、不在などで配達員に電話帳を渡せなかった場合は、タウンページセンタまでご連絡いただければ、後日、回収に伺います。

問 タウンページセンタ☎0120-506309（平日の午前9時～午後5時）

8日は歯の日

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

12月の担当は――

鮫川中学校
保健給食委員会（1年）

橋本　侑香さん
円井朝紗美さん
藤田　菜月さん



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手・まめ・館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
村県民税：第4期
国民健康保険税：第7期
介護保険料：第7期
後期高齢者医療保険料：第5期
※納期限：12月25日(水)

information

除雪作業にご協力ください

村では、積雪が15㌢以上になった場合、必要に応じて除雪作業を行います。除雪は、村内の工事請負業者5社と村が、村道・林道などを実施します。効率的な除雪作業を行うために、地域の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

■自宅の門口などの除雪にご協力ください

車道の除雪後、個人の門口や私道入口に雪が残ってしまいます。出入口の確保については、それぞれの管理者（所有者・利用者）で除雪をしてください。その際、車道に雪を出してしまうと道路がデコボコになり交通障害の原因となりますので、車道への雪出しはやめましょう。

■道路脇の支障物などは移転をお願いします

路肩や側溝に積んである木材・資材などは除雪に支障をきたしますので、降雪前に移転などをお願いします。移転不可能な物がある場合は、除雪で損傷を受けないように目印をつけましょう。

■道路などに張り出している樹木は、枝刈り払いなどをお願いします

樹木が道路や歩道に張り出していたり、倒木の恐れがある場合は、降雪前に土地所有者で枝刈り払いや伐採をお願いします。倒木などにより交通事故などが起きた場合、土地所有者の責任になることがありますので、注意してください。

■除雪車の無理な追い越しはやめましょう

除雪車の無理な追い越しは交通事故の原因になりますので、絶対にしないでください。また、除雪後の道路は道幅が狭くなります。歩行者に配慮した安全運転をお願いします。

■消火栓や防火水槽の除雪は地域の皆さんの協力でお願いします

消火栓や防火水槽はいつでも使用できるよう、あらかじめ地域で協力体制を整えて除雪をお願いします。

問 村地域整備課建設係☎49-3116

無料法律相談会

白河司法書士総合相談センターでは、不動産登記や会社登記、相続・遺言などについての法律相談を無料で行います（要予約）。

日時 12月5日（木）午後5時～午後8時

場所 マイタウン白河2階

予問 白河司法書士総合相談センター☎0248-23-1785（祝日を除く平日の午前10時～午後0時30分、午後1時30分～午後4時）

募集

平成26年度 幼稚園・保育園 入園児募集

平成26年4月から鮫川幼稚園・保育園に入園を希望する児童を募集します。

定員 幼稚園…60名／保育園…120名

申し込み期限 12月13日（金）

入園基準 平成20年4月2日から平成21年4月1日までに生まれ、村内に居住していること

必要書類 入園志願書、お子さんの住民票抄本

申し込み先 村教育委員会またはこどもセンター

保育園

対象児童 乳児（6カ月以上）から4歳児まで

入園基準 児童の保護者が次のいずれかに該当し、家庭内で保育ができない場合…①日中に家庭外で仕事をしている／②日中に家庭内で家事以外の仕事をしている／③父親あるいは母親のいずれかがいない／④母親が出産または父親あるいは母親のいずれかが病人や障がい者など／⑤病人や障がい者などの看護をしている／⑥家庭が災害にあった

必要書類 保育園入園申込書、両親の就労状況を証明する書類（勤務・内職をしている場合は事業所の勤務証明書。自営業・農業などの場合は地区民生委員の証明）

申し込み先 役場住民福祉課またはこどもセンター

問 さめがわこどもセンター☎29-1010／村教育委員会教育課☎49-3151／村住民福祉課福祉係☎49-3113

統計

工業統計調査にご協力ください

経済産業省では、12月31日現在で「工業統計調査」を実施します。

この調査は、製造業を営む事業所を対象に、その活動状況を明らかにすることを目的に実施しています。

調査結果は、国や県、市町村の行政施策の基礎資料として活用されるとともに、小・中学校、高等学校の教材などとして広く利用されています。

調査の実施にあたっては、12月下旬から調査員が事業所などに伺いますので、ご協力をお願いします。

問 村企画調整課企画振興係☎49-3115

December
12

㊡＝休日当番医　[公]＝公民館　[図]＝図書館　[保]＝保健センター
[ト]＝農業者トレーニングセンター　[こ]＝こどもセンター

火	水	木	金	土
3 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**4** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●手・まめ・館定休日 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●おはなしの森… 16:00～[図]	**5** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**6** ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	**7** ●お遊戯会[こ]
10 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**11** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●おはなしの森… 16:00～[図]	**12** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●やまゆり保育室[こ]	**13** ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	**14**
17 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**18** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●やまぶきの会… 10:00～15:00[保] ●やまゆり乳児室[こ] ●おはなしの森… 16:00～[図]	**19** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●社会学級閉級式… 10:00～13:30[公]	**20** ●心配ごと相談… 13:00～15:00[公] ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●幼稚園、小・中学校 第２学期終業式	**21**
24 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**25** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●おはなしの森… 16:00～[図] ●村県民税などの 納期限	**26** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**27** ●役場仕事納め	**28**
31 ㊡あらまちクリニック （棚倉町）☎33-8018 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	**1/1** 元旦 ㊡和田医院（棚倉町） ☎33-2012 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●手・まめ・館定休日	**2** ㊡東館診療所（矢祭町） ☎46-3165 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●手・まめ・館定休日	**3** ㊡大木医院（棚倉町） ☎33-2424 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	**4** ●消防団出初式
7 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**8** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●幼稚園、小・中学校 第３学期始業式 ●おはなしの森… 16:00～[図]	**9** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**10** ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	**11**

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

10月届け出分・敬称略



矢吹　愛美（あみ）・女
平25.10.7生
住所…遠ヶ竜
保護者…彩音

蛭田　真央（まお）・女　平25.10.15生
住所…田野上　保護者…智勝・奈緒美

おくやみ

10月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
関口	藤田　ハマ	10. 1	94歳
大犬平	森田ハルノ	10. 5	88歳
押野	関根　章雄	10. 9	77歳
田尻	高久　稲子	10.11	79歳
前田	前田　初	10.11	81歳
姿平	笹島マツヨ	10.19	90歳
関口	藤田　一朗	10.21	85歳
姿平	笹島　留吉	10.23	85歳
大戸中	小松　富治	10.24	88歳

人の動き

11/1現在・（　）は前月比

人口	3,909人	（－ 12）
男	1,961人	（－ 6）
女	1,948人	（－ 6）
世帯	1,167戸	（＋ 1）

寄付寄贈

10月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…藤田博文(上)　森田弘二(大犬平)　関根幸雄(押野)　高久美智男(田尻)　前田丙午(前田)　藤田悦男(関口)　笹島兼光(姿平)　小松惠一(大戸中)

■**子育て支援などに関する事業のために[金員]**…永山悦子(東京都)

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編／集／後／記

■今回、３組の生産者の方々に取材をさせていただきました。皆さん、手間暇を惜しまず作業に励み、生き生きとしていました。しかし、これは３組の方々に限ったことではなく、村内の多くの生産者にあてはまることなのでしょう。そのような生産者が鮫川村の「食」、日本の「食」を支えてきたのだと、改めて実感できました。　（前田）

暮らしのカレンダー

日	月
12/1 ㊡東館診療所（矢祭町）☎46-3165 *第1日曜日は環境美化の日*	2 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●固定資産税などの納期限
8 ㊡大木医院（棚倉町）☎33-2424	9 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●3～4カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院
15 ㊡金澤医院（矢祭町）☎46-2312 ●親子読書教室…10:00～[図]	16 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
22 ㊡東白川中央医院（棚倉町）☎33-3263	23 *天皇誕生日* ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
29 ㊡塙厚生病院（塙町）☎43-1145 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	30 ㊡木村医院（矢祭町）☎46-3528 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
5 ㊡金澤医院（矢祭町）☎46-2312 *第1日曜日は環境美化の日*	6 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●役場仕事始め

12 December 2013
平成25年12月1日発行（毎月1日発行）
第716号（昭和27年9月創刊）
発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画調整課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み Episode_08

大竹元一さん　睦子さん

青生野字江堀在住／昭和38年10月結婚

睦子さんにとって、元一さんは初恋の人だといいます。国道289号の開通工事をしているとき、お互い仕事に出ていて、そこで知り合いました。

こんにゃく栽培や養蚕など、農業をやりながら元一さんは会社務めをしていました。「子どもを一人前に」と2人で力を合わせ、また周りの人たちからのアドバイスなどを受けながら子育てに必死だったと振り返ります。「子どもが自立して働いてくれたことは、言葉にならないうれしさがある」と目頭を熱くしました。

これからは自分たちの老後を考え、のんびり生活していきたいと話します。「日本1周」を目標に、2人で旅行を楽しみたいそうです。

こちら 村長室

▼「年越しそば」と聞くと、忘れられない「一杯のかけそば」という話があります。▼父の交通事故により多額の借金に苦しむ母子。大晦日に三人で一杯のかけそばを注文し、楽しそうに食べました。この三人に対するそば屋の主人たちの温かい心づかいや言葉に励まされ、家族は助け合い、そして、医師や銀行員になった息子たち。十年ぶりに一番ぜいたくな年越しそばを食べようと、母子三人で関西から札幌の「北海亭」を訪れ、昔の思い出を語り合うという話です。▼子育て中だった私と妻は、人の優しさ、助け合う家族の姿や温かさ、強さに心打たれ目頭を熱くしたものです。▼昨年、今年とまさに激動の年。こうしたときこそ、人と人のつながり（絆）や優しさを大切にすることを中心に据えていかねばと考えます。私たち大人が笑顔にならなければ、子どもに笑顔はありません。みんなで困難を乗り越え頑張りましょう。この一年のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

大樂勝弘